

ご挨拶

毎度お引き立て賜り厚く御礼申し上げます。日頃は格別なるご厚情を頂き、まことにありがとうございます。

去年は初の浅草橋、初の個展と初めてづくしの展示会でしたが、皆様のお陰様をもちまして賑やかに開催することができました。ご来場頂きました皆様、ご来場頂けなかった皆様、すべての皆様、誠にありがとうございました。予想以上の人出に行き届かなかった点が多々あったことと思いますが、催事の趣旨に免じて御容赦頂き度お願い申し上げます。

さて、本年の富士印材フェアのご案内をさせていただきます。今回は富士印材工業としましては久々の7月開催となります。会場は昨年同様浅草橋でございますが、都合により昨年とは別の会場での開催となります。皆様にはご不便をお掛け致しまして申し訳ございません。浅草橋駅からは徒歩2分、と昨年より少し遠くなっていますが、皆様御存知、文具共和会館からは徒歩0分！すぐお隣の会場となります。上手くいけば梅雨も明け、暑さ真っ盛りの頃だろうと思いますが、冷たいお飲み物と軽食も用意しておりますので時間の許す限りお涼み頂ければ幸いです。本年は酒精もご提供可能です。

コロナから6年、河野は無役になり、真っ先に全社で押印を廃止しますとぶち上げたサントリーの新浪が麻薬で失脚し、若干ではありますが良い変化が起きています。この6月、自由民主党の中谷議員にお願いしてありました、個人事業主の特別国際種事業者登録の代替わり時の負担軽減にも僅かながら進展が見られました。経産省から山梨県の印章事業者のところへ現地視察に来られ、彼らに事業承継の大切さと厳しさを訴えさせて頂きました。残念ながらまだ改善手続きの為の視察ではなく、改善した方が良くどうかを検討する段階ですが、第一歩ではあります。変革を成すためには引き続き私達の声を届けていく事が必要です。

他方、何でもデジタルの風潮はまだ止みません。2006年から教科書をデジタル化したデジタル先進国スウェーデンでは、結果子供の学力が低下しまい2023年に廃止になったというのに、日本では2030年からデジタル教科書を本格導入します。その為の法改悪が6月の国会において成されました。文科省の役人や分教族の政治家が、デジタル利権より子供たちの学力が大切だと解るのに後20年は必要の様です。同じく何でもデジタルの政府は遺言書の押印も廃止しようと企んでいます。遺言を残すのに押印すら面倒なのだったらいっそ何でもかんでも様式問わずに遺言と認めてしまえば、裁判沙汰が増えてさぞかし弁護士が儲かることでしょう。献金でウハウハです。しかし、役人や政治家に皮肉を言っても何も改善されません。郷土と文化を守るため、非力といえども座して黙認する訳にはいきません。断固反対の声を上げなければなりません。議連の城内先生にも閣内で頑張ってもらい、中谷議員には一層の奮起精励を期待し応援したいと思います。私達一人一人の声は小さく細いので、とても多く声が必要です。是非皆様のご協力をお願いいたします。

もはやコロナ後ではない、という証左という程仰々しい物ではありませんが、当日はいくつか新製品が発表できる見込みです。昨年発表させて頂いたBP枠ケースは白枠から展開致します。インバウンドのあおりを受けて品不足になっておりました錦織袋は、新柄を投入致します。無論、通常商品は会場のみの特価にて販売させて頂きます。オランダ水牛は大量に展示する予定ですので、是非足をお運び下さい。従業員一同、心よりお待ち申し上げます。



実用新案登録

第 3252701 号

※ボールプランジャー機構の印鑑フレーム

富士印材工業株式会社
代表取締役 河西正人

